

専 門 教 養
令和 4 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
特別支援学校 美 術

注 意

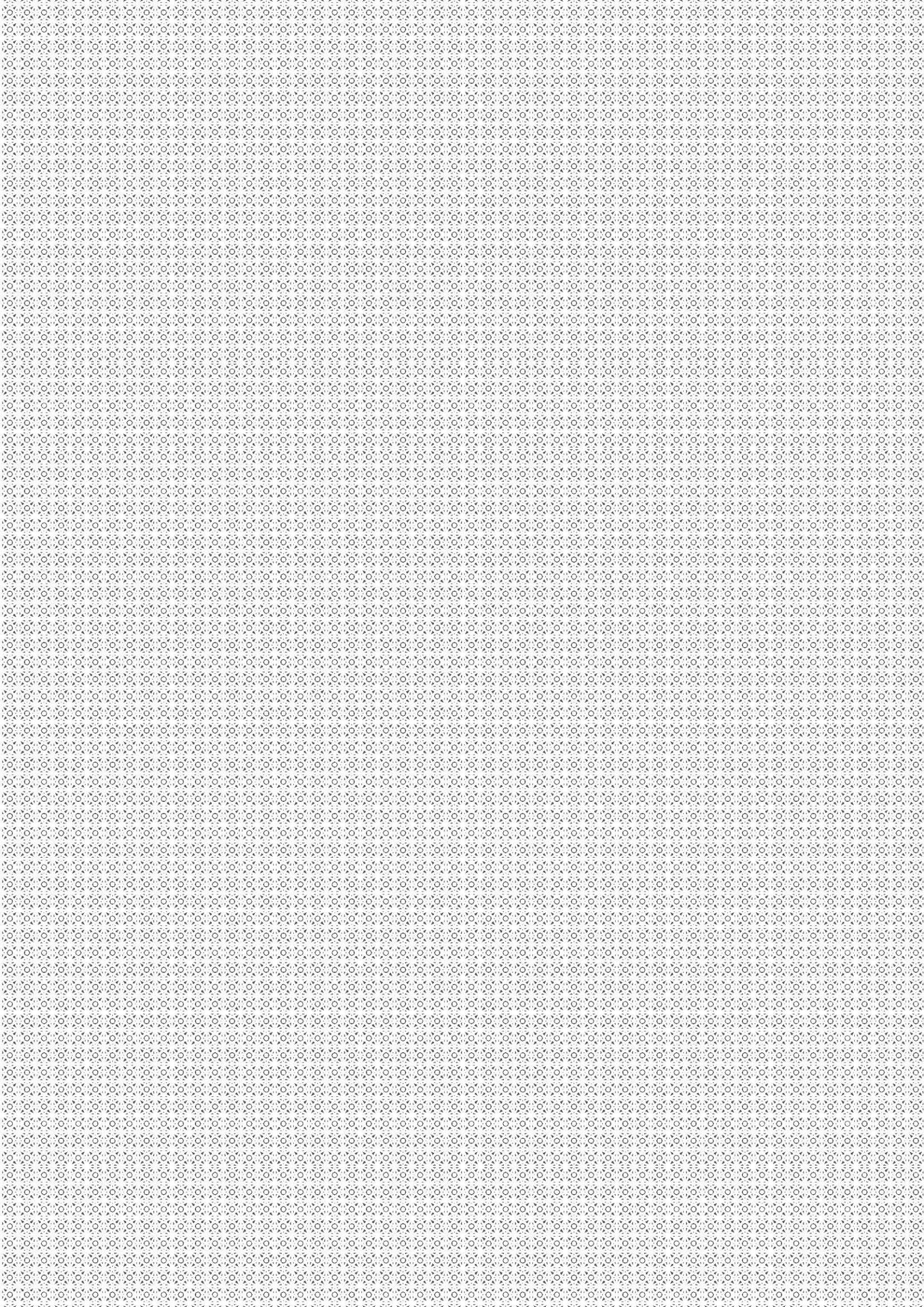
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、26ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1 ～ 3、**特別支援教育の専門に関する問題** I ～ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例）

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



問題中に示した図については、特にことわりがなくても、原作となる作品の一部である場合や、必要に応じて部分的に修正を加えてある場合がある。

教科等に関する問題

1 図画工作及び美術の表現に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の記述は、鉛筆素描に関するものである。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の **1～4** のうちのどれか。解答番号は **1**。

J I Sでは、鉛筆の芯の **ア** を9 Hから6 Bまでの17種類に分けている。また、表面が **イ** 紙では、黒鉛の粒子の定着が不安定でこすれたり消えたりしやすい。

- | | | |
|---|-------------|----------------|
| 1 | ア 濃さ | イ ざらついた |
| 2 | ア 濃さ | イ 滑らかな |
| 3 | ア 硬さ | イ ざらついた |
| 4 | ア 硬さ | イ 滑らかな |

〔問 2〕 絵具の特性に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 アクリル絵具は、アクリル樹脂を展色剤に用い、乾きが早く、乾くと水に溶けず耐水性になる。耐久性があり木材やガラスへの描画も可能である。
- 2 水彩絵具は、アラビアゴムを展色剤に用い、乾いても、水に触れると溶ける特徴がある。不透明性を生かした表現に適しているが、耐久性は高くないため紙以外の描画には適さない。
- 3 油絵具は、天然の鉱石や土、貝などを顔料として使用し、膠を展色剤とする。顔料自体に接着性はなく、描く際に展色剤を使用して支持体に定着させる。
- 4 新岩絵具は、ガラスに金属酸化物を加えて化学的にできた人工の鉱石を粉砕、精製した顔料を用い、乾性油を展色剤とする。独特の艶と透明感、盛り上げなどの可塑性があり、緩やかな固化速度が特徴である。

〔問 3〕 表現技法に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 インクや多めの水で溶いた絵具を筆に含ませ、画面上にたらしたり、息を吹きかけて散らしたりする表現技法をスプラッターリングという。
- 2 クレヨンなどの油性の描画材で図柄を描き、上から多めの水で溶いた絵具で彩色し、図柄をはじきだす表現技法をコラージュという。
- 3 凹凸のある素材の上に紙をのせ、その上からコンテ、鉛筆、クレヨンなどの描画材で、形をこすり出す表現技法をフロッターージュという。
- 4 色紙、印刷物、布、写真などを好きな形に切り抜いたものや、実物そのものを直接画面に貼り付ける表現技法をパッチックという。

[問 4] 次の記述は、のこぎりの使い方の指導に関するものである。記述中の空欄 **ア** ～
ウ に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の **1～8** のうちのどれか。解答
番号は **4** 。

材を台上に載せ、手や止め木でしっかりと押さえて、**ア** をひく位置に合わせ、の
こ刃を当ててひき始める。また、ひき始めは、のこ刃の **イ** の方で、軽く4～5回、
ゆっくりとひいてのこ道を付ける。

両刃ののこぎりは、材の木目によって刃を使い分けるようにする。なお、木目を斜めに切
断するような場合には、**ウ** を使うよう指導する。

- | | | | | | | |
|----------|----------|----|----------|---|----------|------|
| 1 | ア | 親指 | イ | 先 | ウ | 縦びき刃 |
| 2 | ア | 親指 | イ | 先 | ウ | 横びき刃 |
| 3 | ア | 親指 | イ | 元 | ウ | 縦びき刃 |
| 4 | ア | 親指 | イ | 元 | ウ | 横びき刃 |
| 5 | ア | 中指 | イ | 先 | ウ | 縦びき刃 |
| 6 | ア | 中指 | イ | 先 | ウ | 横びき刃 |
| 7 | ア | 中指 | イ | 元 | ウ | 縦びき刃 |
| 8 | ア | 中指 | イ | 元 | ウ | 横びき刃 |

〔問 5〕 次の作品に使用した版画の版種として適切なものを下の**ア～ウ**から、版種の版とインク
の関係を模式的に表した図として適切なものを下のA・Bからそれぞれ選んだ組合せとし
て適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は

5

。

ア シルクスクリーン

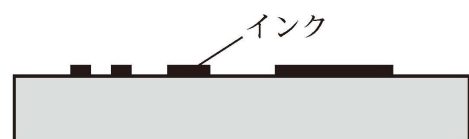
イ メゾチント

ウ リトグラフ

A



B



1 **ア**－A

2 **ア**－B

3 **イ**－A

4 **イ**－B

5 **ウ**－A

6 **ウ**－B

2

図画工作及び美術の鑑賞に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 6。

- 1 ロンドンに生まれ、光を色彩で表現しようと試みた。歴史画制作のかたわら身近なイギリスの自然を描き、天候と大気が風景に与える変化を追究した。イギリス風景画の黄金期を代表するロマン主義の作家である。
- 2 パリに生まれ、アカデミーの大家に師事をした。自然を丹念に観察し、大気や光を忠実に表現した叙情的な風景画で、新古典主義のサロンでも認められるほどの名声を得た。写実主義の先駆けである自然主義を代表する作家である。
- 3 パリ郊外の村に住み、野外の外光で風景画を描いた。風景的要素を人間に従属させ、労働する人々のポーズを通じてその苦痛と、それに打ち勝つ人間の尊厳を描こうとした。目に見えるものをありのままに描こうとした写実主義を代表する作家である。
- 4 パリに生まれ、色彩や光に関する科学理論を研究した。色彩表現を強く打ち出すために筆触分割の理論を打ち出し、筆触の単位を点描から小さな色面へと変化させていった、新印象主義を代表する作家である。

〔問 2〕 次の作品に関する記述として最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 7。

- 1 クラシック期のもので、古代ギリシアの彫刻家、リュシッポスの作であることが分かっている。オリジナルはブロンズでできており、その後、大理石によるコピーが制作されたと考えられている。
- 2 ヘレニズム期のもので、ロドス島の彫刻家によるものと考えられている。サモトラケ島で発見され、その後、作品が立っていた船首の部分が発見された。
- 3 ヘレニズム期のもので、古代ギリシアの彫刻家、パイオニオスの作であることが分かっている。オリンピアのゼウス神殿の正面に設置された高さ約10mの三角柱の上に立てられていた。
- 4 クラシック期のもので、古代ギリシアの彫刻家、プラクシテレスの作であることが分かっている。サモトラケ島で発見され、その後の研究で地上に降り立ったところが表現されていることが分かった。

〔問 3〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 8。

- 1 少年時代にジョヴァンニ・ベリーニに学んだ。主題は神話、宗教、肖像など多方面にわたり、色彩自体の価値を自由に表現した描法には独自のものがあり、晩年に至るにつれ運筆はますます激情的なものとなった。代表作に『ウルビノのヴィーナス』がある。
- 2 ミケランジェロ、ラファエロの影響を受け、ことに後者の様式をいっそう優美に展開させ、非現実的な空間に極度に引伸ばされた繊細優美な人体を描いた。版画にも優れ、イタリアでエッチングの技法を紹介した最初の版画家と言われる。代表作に『長い首の聖母』がある。
- 3 20代中頃にヴェネツィアに渡り、ティントレットなどの影響を受けた。写実的な肖像画を多く残したが、長身化され様式化された人物像が神秘的な擬似空間に炎のように燃え上る宗教画が特徴である。代表作に『無原罪の御宿り』がある。
- 4 建築家ブルネレスキに遠近法を学び、近代絵画の基調と言われる写実主義の基礎を築いた。絵画における新しい自然主義的なアプローチを提唱し、平面的な表現よりもむしろ三次元的なイリュージョンを重視した。代表作に『貢の銭』がある。

[問 4] 次の記述は、下の作品に関するものである。記述中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は **9** 。

18世紀のフランスを中心に流行した **ア** 様式を代表する作家の作品であり、豊かな色彩と **イ** な表現が特徴である。この様式では、室内や調度品の装飾には **ウ** に例えられる曲線が多く使われた。

- | | | | |
|---|------------------|--------------|-----------------|
| 1 | ア アールヌーボー | イ 装飾的 | ウ 植物 |
| 2 | ア アールヌーボー | イ 優美 | ウ ゆがんだ真珠 |
| 3 | ア バロック | イ 劇的 | ウ ゆがんだ真珠 |
| 4 | ア バロック | イ 装飾的 | ウ 巻き貝 |
| 5 | ア ロココ | イ 劇的 | ウ 植物 |
| 6 | ア ロココ | イ 優美 | ウ 巻き貝 |

〔問 5〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 10。

- 1 絵具を重ねるのではなく、細かなタッチで画面に並べる筆触分割により、光の反射を巧みに捉え、外光によって移り変わる一瞬の光景を描き出した。代表作に『印象・日の出』がある。
- 2 古典を学びながらも写実主義の考え方を取り入れ、影をわざと少なくし、明快な色使いと素早いタッチや筆さばきでパリの市民生活を鮮やかに描き出した。代表作に『笛を吹く少年』がある。
- 3 複数の視点から捉えることや、独自のデフォルメ、色の工夫など、構図やタッチ、色彩という純粋な絵画的な要素に価値があるという新しい考え方で作品を描き出した。代表作に『林檎とオレンジ』がある。
- 4 混色をさけた彩色と自由でのびやかな筆致によって、降り注ぐ光の表現や明るい雰囲気の中で過ごす人々を描き出した。代表作に『大水浴図』がある。

〔問 6〕 次の作品の作者として適切なものを下の**ア**～**エ**から、その作者に関する記述として適切なものを下の A・B からそれぞれ選んだ組合せとして適切なものは、下の **1**～**8** のうちのどれか。解答番号は

11

。

- ア** 葛飾北斎
- イ** 鈴木春信
- ウ** 東洲斎写楽
- エ** 菱川師宣

A 10か月ほどの活動期間で、極端に強調された個性的な浮世絵で話題となった。作品の背景には、絵の具に雲母の粉を混ぜた雲母摺の技法が使われた。

B 狩野派から西洋絵画まで学び、ダイナミックな構図で斬新な浮世絵を作り上げた。輸入されたベロ藍と伝統の藍を使用して、青の色調が生まれた。

- 1** **ア**－A
- 2** **ア**－B
- 3** **イ**－A
- 4** **イ**－B
- 5** **ウ**－A
- 6** **ウ**－B
- 7** **エ**－A
- 8** **エ**－B

3

図画工作及び美術の表現と鑑賞に関する次の各問に答えよ。

- 〔問 1〕 次の記述は、ある作品に関するものである。この作品として適切なものを下のア・イから、その作者として適切なものを下の A～D からそれぞれ選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～8 のうちのどれか。解答番号は 12。

作者の彫刻にとっても、また20世紀の抽象彫刻にとっても代表的な作品と見なされる『空間の鳥』は、単純化され、飛翔する鳥のイメージが抽象的な概念に置き換えられている。ロダンから決別した作者は、鳥の姿をそのままなぞるのではなく、鳥という生命体について人間の思い描くイメージを、純化させた形態のなかに凝縮させている。

ア

イ

- A アルベルト・ジャコメッティ
- B アレクサンダー・コールドー
- C コンスタンティン・ブランクーシ
- D ヘンリー・ムーア

- 1 アーA
- 2 アーB
- 3 アーC
- 4 アーD
- 5 イーA
- 6 イーB
- 7 イーC
- 8 イーD

〔問 2〕 次の作品**ア～ウ**と、その作者に関する記述A～Cとの組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は 13。

ア

イ

ウ

- A 写実主義を代表する作家で、その表現は堅固な形態や量塊に対する愛着と結びつき、なによりも視覚を重視するものとして印象主義の作家たちに影響を与えた。
- B 新古典主義を代表する作家で、色彩よりも線による表現を尊重し、鮮明な線と冷たい色彩そして厳格で明確な構図によって古代の美德を表現した。
- C ロマン主義を代表する作家で、色彩の補色の利用や、筆跡の残る大きなタッチを有効に用いるなど、印象派はもとより、後期印象派やフォービズムに影響を与えた。

- | | | | |
|---|-------------|-------------|-------------|
| 1 | ア －A | イ －B | ウ －C |
| 2 | ア －A | イ －C | ウ －B |
| 3 | ア －B | イ －A | ウ －C |
| 4 | ア －B | イ －C | ウ －A |
| 5 | ア －C | イ －A | ウ －B |
| 6 | ア －C | イ －B | ウ －A |

〔問 3〕 次の記述は、ある建築物と庭園に関するものである。この建築物と庭園として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 14。

中島を配した池や築山を設け、庭園を眺める位置に書院が建てられている。書院は伝統的な書院造に茶室風を加味した、数寄屋風書院造であり、雁行形に続いている。また、庭園は池泉回遊式庭園であり、園内の移動に伴い、変化に富んだ景観を鑑賞できる。

1

2

3

4

〔問 4〕 次の記述は、ある芸術家に関するものである。この芸術家の作品として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 15 。

フランスのラヴァルに生まれ、パリ市にある税関の職員として働きながら絵を描いた素朴派の画家である。正統的な形態把握、色彩用法、構図法にとらわれずに特異な画面を作りあげ、幻想的、夢幻的な絵画世界を作り上げた。

1

2

3

4

〔問 5〕 次の記述は、ある芸術家に関するものである。この芸術家の作品として適切なものは、下の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は

16

 。

1890年オーストリアのトゥルンに生まれた画家である。ウィーンの美術アカデミー中退後、19歳で新芸術家集団を結成した。自画像を多く描いた。性や死をテーマとした作品も多く、当時、彼の表現は非常に過激であるとされ、世間には受け入れられなかった。

1

2

3

4

〔問 6〕 次の記述は、下の作品A・Bに関するものである。記述中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1 ～ 6 のうちのどれか。解答番号は **17**。

材木の節約や制作時の分業化が可能となる **ア** の技法の完成者とも言われる仏師定朝のあとに、仏像A・Bの作者である **イ** 派の仏師たちが登場した。仏像Aは、仏師たちが焼失した大寺院の復興のために、仏師定朝が完成させたと言われる技法を用いて短期間で制作した。また、仏像Bは仏師 **ウ** が、玉眼などの技法を用いて高僧を写實的に表現した。

A

B

- | | | | | | | |
|---|----------|----|----------|----|----------|-----|
| 1 | ア | 乾漆 | イ | 慶 | ウ | 運慶 |
| 2 | ア | 乾漆 | イ | 止利 | ウ | 鞍作鳥 |
| 3 | ア | 乾漆 | イ | 止利 | ウ | 運慶 |
| 4 | ア | 寄木 | イ | 慶 | ウ | 運慶 |
| 5 | ア | 寄木 | イ | 慶 | ウ | 鞍作鳥 |
| 6 | ア | 寄木 | イ | 止利 | ウ | 鞍作鳥 |

[問 7] 次の作品の作者として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、この作品に関する記述として最も適切なものは、下のB群の1～4のうちではどれか。解答番号はA群が 18、B群が 19。

【A群】

- 1 ヴィクトール・ヴァザルリ
- 2 ジャクソン・ポロック
- 3 ジャスパー・ジョーンズ
- 4 ロイ・リクテンスタイン

【B群】

- 1 描きあがったものだけでなく、絵を描く作家の身体的な行為の軌跡、描く行為自体に重要性を与えた、アクション・ペインティングの作品の一つである。
- 2 ありきたりだと思っていたものの見方を変えることで、新しいイメージを感じさせ、絵画としての存在感、現実感を表現して描いた、ネオ・ダダの作品の一つである。
- 3 大衆文化や消費社会を象徴する日常的で通俗的なものを断片的に取り出して、そのイメージをアート化して描いた、ポップ・アートの作品の一つである。
- 4 色面や線を使った錯視効果で画面がふくらんだり揺らいだりして見える、視覚的美術、光学的美術として描いた、オプ・アートの作品の一つである。

特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 特別支援教育に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 20。

- 1 学校教育法では、特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による生活上の困難について支援を行うことを主な目的とすると規定されている。
- 2 学校教育法では、特別支援学校においては、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の要請に応じて、特別支援学級に在籍する幼児、児童等及び通級による指導を受けている幼児、児童等に限定して、必要な助言又は援助を行うよう努めるものと規定されている。
- 3 学校教育法施行規則では、特別支援学校の設備、編制その他設置に関する事項及び特別支援学級の設備編制は、第八章及び特別支援学校設置基準に定めるもののほか、別に定めると規定されている。
- 4 学校教育法施行規則では、校長は、特別支援学校に在学する児童等について個別の指導計画を作成するものとし、その作成に当たっては、当該児童等又はその保護者の意向を踏まえつつ、あらかじめ、関係機関等と当該児童等の支援に関する必要な情報の共有を図らなければならないと規定されている。

〔問 2〕 特別支援学校の教育課程に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 21。

- 1 特別支援学校の小学部の教育課程は、生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、特別の教科である道徳、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動の10の教科によって編成するものとする。
- 2 特別支援学校の小学部、中学部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、特別の教科である道徳及び自立活動の全部又は一部について合わせて授業を行うことができるが、特別活動はできない。
- 3 特別支援学校において、複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合又は教員を派遣して教育を行う場合において、特に必要がないときでも、特別の教育課程によることができる。
- 4 特別の教育課程による場合において、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより、他の適切な教科用図書を使用することができる。

〔問 3〕 「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議（報告）」（新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 令和3年1月）に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 22。

- 1 副次的な籍等を活用した居住する地域の学校との交流及び共同学習が継続的に行われるためには、特別支援教育支援員を中心とした学校間や家庭等との連携強化や特別支援教育コーディネーターの活用が求められる。
- 2 特別支援学校の教師には、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を十分把握して、これを各教科等や自立活動の指導等に反映できる幅広い知識・技能の習得や、学校内外の専門家等とも連携しながら専門的な知見を活用して指導に当たる能力が必要である。
- 3 特別支援学校は、障害のある子供やその家族が避難するための福祉避難所となることも想定されるが、その際には、個々の特別支援学校の事情に留意することなく、地方公共団体が、人材の確保や備蓄等について必要な支援を行うことを検討する必要がある。
- 4 これまで、特別支援教育においては、ICTの活用が積極的に行われてきておらず、各教科等の指導においては、ICTを使用することを目的とした授業作りから始めることが重要である。

Ⅱ 学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 特別支援学校高等部学習指導要領総則の「教育課程の実施と学習評価」に関する記述
ア～エのうち、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのど
れか。解答番号は 23。

- ア 言語能力の育成を図るため、各学校において必要な言語環境を整えるとともに、特別活動をやとしつつ各教科・科目等又は各教科等の特質に応じて、生徒の言語活動を充実することに配慮するものとする。
- イ 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実することに配慮するものとする。
- ウ 各教科・科目等又は各教科等の指導に当たっては、自立活動に基づいて行われた学習状況や結果を適切に評価し、指導目標や指導内容、指導方法の改善に努め、より効果的な指導ができるようにすることに配慮するものとする。
- エ 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学部段階を越えて生徒の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することに配慮するものとする。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

〔問 2〕 特別支援学校高等部学習指導要領の「各教科」における、次のア～エの特別支援学校において配慮する事項に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

ア 視覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校

イ 聴覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校

ウ 肢体不自由者である生徒に対する教育を行う特別支援学校

エ 病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校

- 1 生徒の身体の動きや意思の表出の状態等に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- 2 生徒が空間や時間の概念を活用して場の状況や活動の過程等を的確に把握できるよう配慮し、見通しをもって積極的な学習活動を展開できるようにすること。
- 3 生徒の身体活動の制限や認知の特性、学習環境等に応じて、教材・教具や入力支援機器等の補助用具を工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- 4 生徒の興味・関心を生かして、主体的な言語活動を促すとともに、抽象的、論理的な思考力の伸長に努めること。

Ⅲ

次の事例を読み、後の各問に答えよ。

生徒Aは、①発達障害のある中学1年の生徒である。以下のような状況がしばしば起こる。

生徒Aの様子

- ・ 書かれた文章を読んだり、文字を書いたりすることができる。
- ・ 忘れ物や物をなくすことが多く、学習用品を整理整頓することが難しい。
- ・ 思ったことをそのまま口に出してしまい、友達とトラブルを起こすことがある。
- ・ 教室では、着席していても大きく身体を常に動かしており、②姿勢が大きく崩れ、活動を継続できなくなることがある。
- ・ 国語や数学の学習では、教師の話や板書の内容を的確に捉えることが難しく、学習を進めることが困難なことがある。
- ・ 保健体育の授業が好きで興味をもって学習に取り組むことができるが、教師が説明をしている間に、活動を始めようと立ち上がって動き出したり、ゲームで勝ちたいという気持ちが先だって、ルールを守ることができなかつたりすることがある。

（「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」から作成)

〔問 1〕 下線部①について、生徒Aの発達障害の名称と、生徒Aに対してアセスメントのために実施するウェクスラー式知能検査との組合せとして最も適切なものは、次の1～6のうちではどれか。解答番号は 28 。

	発達障害の名称	ウェクスラー式知能検査
1	学習障害	WAIS-IV
2	学習障害	WISC-IV
3	自閉症	WAIS-IV
4	自閉症	WPPSI-III
5	ADHD	WISC-IV
6	ADHD	WPPSI-III

〔問 2〕 下線部②について、次の記述ア～エのうち、生徒Aの障害の特性等に配慮した指導として正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は 29。

- ア 姿勢が崩れたときに、すぐに姿勢を正すように教師が叱責する。
- イ 姿勢のチェックポイントを示したイラスト等を使い、自分で確認できるようにする。
- ウ 座面の滑りにくい椅子を準備し、姿勢が崩れにくいようにする。
- エ 崩れた姿勢のイラストにバツ印を付けて、姿勢が崩れたときに執ように繰り返し指導する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

〔問 3〕 生徒Aに対して、指導目標を「一定時間落ち着いて、学習に取り組む」と設定した。次の記述ア～エのうち、この目標を達成するために生徒Aの障害の特性等に配慮した指導として、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は 30。

- ア 刺激を統制した落ち着いた環境で、必要なことに意識を向けられるようにする。
- イ 視知覚の特性で文字の判別が困難なため、文字間や行間を大きく広げて板書する。
- ウ 注目すべき箇所を色分けしたプリントを用意し、注目しやすくする。
- エ カレンダーや学級通信、お知らせなどを、黒板の周囲にできるだけ多く掲示する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 視覚障害の視機能評価に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。

解答番号は 31。

- 1 PL法は、低年齢や知的障害などで通常の検査ができないときに行う方法で、判別できる縞の幅を視角で表し視力に換算する検査である。
- 2 遠見視力検査は、3mの距離から1個ずつ提示できる遠用ランドルト単独視標を用いて視力を測る検査である。
- 3 最小可読視標の検査は、ドットカードを用いて30cmの距離から最も見やすい小さな視標を見分けることができるかを行う検査である。
- 4 近見視力検査は、50cmの距離から1個ずつ提示できる近見用ランドルト単独視標を用いて視力を測る検査である。

〔問 2〕 聴覚障害における言語指導に関する次の記述ア～エのうち、「聴覚障害教育の手引 言語に関する指導の充実を目指して」（文部科学省 令和2年3月）に照らして、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 32。

- ア 生活の言語化は、食事や着替えなど日常の生活行動を通して言語を学習させる言語指導の方法である。指導者と保護者とで日々密に連絡を取り合い、指導者の指示やアドバイスによって保護者が家庭で実践する方法が一般的である。
- イ わたりの指導は、聴覚学習、発音指導、キューサイン、文字、指文字の活用などを通じて、手話の一つ一つの音を意識させる指導である。小学校段階以降に行い、日本語の読み書きにつなげていく。
- ウ 全体法は、言葉を構成している形を覚えさせ、表出できるようにすることを目的とする指導法である。それに対し、要素法は、意味や概念や経験と、言葉とを結び付けることを目的とする指導法である。言葉の学習には両者の指導法の理念が必要である。
- エ 音韻意識は、例えば、単語を音節に分解したり、単語から特定の音節を抽出したりする能力である。指文字やキューサインといった視覚的情報も音韻意識形成の有効な手掛かりとなる。仮名文字の習得は、音韻意識の形成と密接に関連している。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

〔問 3〕 摂食機能に障害のある肢体不自由の児童・生徒に対する摂食指導に関する次の記述ア～エを、摂食機能の発達段階の順に並べたものとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 33。

- ア やわらかくて形がある物をかじり取る練習をして、一口量の感覚を覚えさせながら、徐々に硬い物にして、いろいろな硬さの経験を増やす。
- イ スプーン上に、ある程度の大きさで、舌で押しつぶせるほどの硬さの食物をのせ、口唇の閉鎖を促しながら捕食させる。
- ウ 手づかみ食べを促すため、握りやすい食物を使い、口の真ん中から一口量かじり取るようにし、顔の正面から食物を取り込めるように、肘関節や手指関節を介助する。
- エ 手指で物を握ったり離したり、手に持ちやすい玩具を口に運ぶなどして口と手の協調を指導する。

- 1 ア → イ → ウ → エ
- 2 ア → イ → エ → ウ
- 3 イ → ア → ウ → エ
- 4 イ → ア → エ → ウ

〔問 4〕 知的障害のある児童・生徒の学習上の特性を踏まえた対応に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 34。

- 1 職業教育を重視し、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能、態度及び人間性等が育つよう指導し、その際に、多様な進路や将来の生活について関わりのある指導内容を組織する。
- 2 生活に結び付いた具体的な活動を学習活動の中心に据え、実際の状況下で指導するとともに、児童・生徒の失敗経験を豊富にすることで、主体的に活動に取り組む意欲を育てる。
- 3 児童・生徒の興味や関心、得意な面よりも課題や苦手な面に着目し、教材・教具、補助用具やジグ等を工夫するとともに、目的が達成しやすいように、段階的な指導を行うなどして、児童・生徒の学習活動への意欲が育つよう指導する。
- 4 児童・生徒一人一人の発達の側面に着目し、意欲や意思、情緒の不安定さなどの課題に応じるとともに、児童・生徒の発達年齢に即した指導を徹底する。

〔問 5〕 次の記述は、ある疾患に関するものである。この疾患の名称として適切なものは、下の
1～4 のうちのどれか。解答番号は 35 。

発熱、目の充血、イチゴ舌、頸部リンパ節の腫脹、発疹、四肢の浮腫などを主要症状とする原因不明の疾患である。心臓への合併症として冠状動脈瘤が挙げられる。

- 1 川崎病
- 2 血友病
- 3 ネフローゼ症候群
- 4 ペルテス病

